

ISSN 0386-3050

岡 山 大 學

法學會雜誌

第 64 卷 第 3・4 号
(通卷227号)

宮本由美子 教授
谷 聖美 教授

退職記念号

二二岡山
〇〇大学
一五法学
五年会
三三雑誌
三三第
月月六
一九二四
二二卷
日日第
発行三
刷号

岡 山 大 学 法 学 会



宮 本 由美子 先 生



谷 聖 美 先 生

宮本由美子教授
に捧ぐ
本号を
谷 聖美 教授

宮本由美子教授は、本学に二〇〇八年四月一日より勤務され、二〇一五年三月三十一日退職されます。谷 聖美教授は、本学に一九七九年四月一日より勤務され、同じく二〇一五年三月三十一日退職されます。われわれ一同、二先生の深き学恩に感謝の意を表して、本号を宮本先生、谷先生に捧げたいと思います。

二〇一五年春

岡山大学法学会

目次

論 説

弁護士会照会に対する回答義務……………吉岡伸一（三九一）

ロシアにおける政治の「司法化」…憲法監督制度をめぐる問題との関連で……………河原祐馬（六五八）

地域医療介護提供体制構築に関する一考察
——連携、競争、公私協働——……………佐藤吾郎（六二六）

大学校のカリキュラムから見た日本官僚制におけるノンキャリアの専門教育……………築島尚（六一六）

平等論の分析的転回
——ジェラルド・コーエンについての覚え書き——……………小田川大典（四五一）

国際犯罪に対する普遍管轄権の行使条件を巡る最近の展開……………竹内真理（四六七）

臓器売買罪の保護法益について……………一原亜貴子（四九三）

非正常配当の否認可能性についての一考察……………小塚真啓（五六八）

岡山大学法学部・法学会平成26年度講演会全記録……………（五一六）